

川上地域にまつわるストーリー

長門峡整備の歴史と高島北海

長門峡の起源

長門峡は、約1億年前の大規模な噴火によって流れ出た火砕流でできた地層です。もともとは、木戸山を源流地とする川が、徳佐、津和野を通り、日本海に流れていました。ところが、^{かんじょうしほ}願成就^{せうじゆ}の青野火山群の噴火により、川の流が堰き止められ、徳佐盆地に堰止湖ができます。その水が^{であい}出合^{しよ}(現道の駅「長門峡」付近)で丁字川となって、長門峡からあふれ出し、長い時間の経過により現在のような長門峡と阿武川になったと考えられています。



たかしま ほっかい
高島 北海
嘉永3年(1850)～
昭和6年(1931)
萩博物館蔵



長門峡の発見と誕生

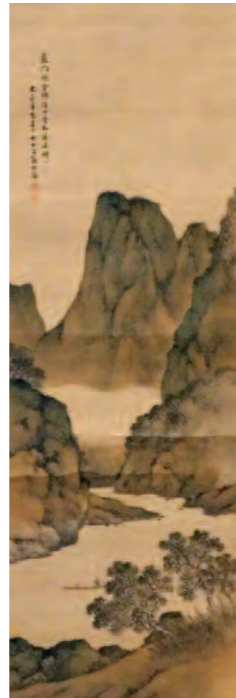
長門峡が記録としてあらわれるのは、明治32年(1899)頃、参謀本部陸地測量部員が踏査・実測し、地形図を作成したことによります。続いて明治41年(1908)阿武川水力電気株式会社がダム建設のために探査し、写真を人々に配布、長門峡の存在を世に紹介しました。また、同年夏山口高等商業学校英語教師エドワード・ガントレットが長門峡を訪れ、大分の^{よまひ}耶馬溪^{せき}に劣らぬ景勝地だとして「長門耶馬溪」と命名、広く一般に紹介し、開発を呼びかけました。

大正9年(1920)に、阿武郡長岡村勇二が上京し、萩出身の画家 高島北海に開発について相談、同年8月北海が山根武亮とともに探勝し、その溪谷美を嘆賞しました。「長門峡」は、このとき北海によって命名されました。

北海の絵を資金に整備された長門峡

高島北海は、探勝道路の開削が急務と進言し、その経費を捻出するため、長門峡の絵100余幅を描いて頒布、その代金17,600余円を寄付しました。そのときに売られた絵は、今も川上や萩近隣の家々に伝わっています。

長門峡の整備工事は、大正10年(1921)1月から5工区に分けて発注され、総延長約10kmの探勝道路が整備されました。さらに、大正12年(1923)3月7日、国の史蹟名勝天然記念物保存法によって「名勝 長門峡」に指定されました。昭和36年(1961)には、山口県の県立自然公園1種にも指定され、樹木の保護が行われ、現在に至っています。



▲北海の名を冠した高島洞門。手掘りで造られたという

◀高島北海が描いた長門峡 長門峡金郷洞望切龍尖峰の図 萩博物館蔵

火山と阿武川がつくった萩の城下町

火山の噴火により長門峡から溢れ出した水がつくった阿武川は、日本海に流れ込み、約2万年前から江戸時代までの長い時間をかけて土砂を運び、萩三角州をつくりました。そして慶長9年(1604)、毛利輝元が萩三角州を埋め立てて萩城を築城し、萩の城下町が発達していきました。



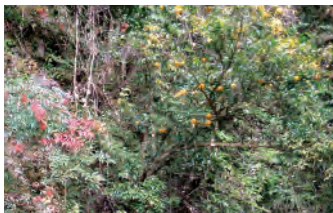
▲当初の長門峡パンフレット 大正14年(1925)長門峡鳥瞰図 吉田初三郎画 萩博物館蔵

川上のユズ

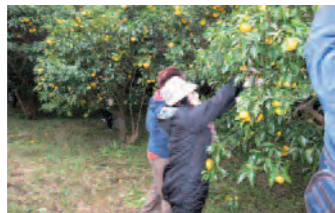
川上の^{そらにわかやま}遠谷金山^{やま}地区には、昭和16年(1941)、国の天然記念物の指定を受けたユズの自生地があります。福昌院の寺領で、20～30度の斜面のアラカシ林の間に大小数10本のユズが混生し、自生地として日本で唯一指定を受けています。

昭和30年代後半、この自生地が存在したことに端を発して、産業振興の一つとしてユズの栽培が始まり、川上の特産品となりました。

川上のユズは、自生ユズの種子を採取、接木した在来種のため、特に香りがよく、日持ちがします。その優れた苗を量産し、川上地区内に植栽したため、生産出荷が安定し「川上柚子」というブランドが確立しました。



遠谷金山地区自生地のユズ



ユズの木にはトゲがあるので革の手袋を使って収穫します

夏には^{こしょう}香橙^{しょう}として、そうめんの葉味などに使われます。本格的な出荷は10月20日頃、少し黄色く色づき始めてから行います。

ユズは健康・美容に効果があり、その香りには気持ちを和らげる精油成分が含まれているといわれています。特に豊富に含まれるビタミンCは、レモンの約3倍といわれ、抗酸化作用に優れ、血中コレステロールを下げ、風邪の予防や美肌にも効果があるといわれています。



川上地区内の作付面積：17ha
園地によっては、昭和40年代の水害で水に浸かり苗木が流され、ずれたまま大きくなったところもあります。現在、年間あたり80～120tのユズが主に搾汁用として出荷されています。

施設のご案内

萩阿武川温泉ふれあい会館

阿武川沿いにあり、山々を見上げる開放的な露天風呂もあります。アルカリ性単純温泉の肌に優しく柔らかい泉質で、疲労回復・健康増進などに効果があるといわれています。敷地内には、温泉水のコインスタンド(100ℓ100円)、奥側には宿泊できるバンガローもあります。



住 所：山口県萩市川上4892-1
T E L：0838-54-2619
入浴料：大人410円 小人200円
時 間：10:00～21:00
(受付20:30まで)
定休日：火曜日(祝日は除く)

川上農林産物直売所

自然豊かな風景、ダム・阿武川・温泉が望める場所にある直売所です。地元産の新鮮で安全な野菜、加工品等を販売。季節折々の山菜や山野草も並びます。

住 所：山口県萩市川上4892-1
T E L：0838-54-2755
時 間：4～10月、9:00～18:00
11～3月、9:00～17:00
定休日：火曜日(祝日は除く)、12月31日～1月3日



梅を使った梅干・梅味噌
大人気のはぶ草茶。昔から手作業で作られている健康茶
特産のユズを使ったゆず餅
ゆず味噌
ゆずポン酢

阿武川歴史民俗資料館

阿武川ダムの建設によって、ダムの底に水没した200戸余りの民家で使用されていた、人々が生きるために創意と工夫を凝らして生み出した民俗資料の数々を展示しています。

住 所：山口県萩市川上小市ヶ谷 T E L：0838-54-2024
入館料：大人100(80)円 小人50(40)円 ※()内は20名以上の団体料金
時 間：9:00～16:30
定休日：火曜日、祝日の翌日、12～3月



萩・長門峡観光遊覧船

阿武川ダムの上流、明神島運動公園をスタートしてダム湖周辺の自然を楽しむ遊覧船。四季折々の自然景観をゆっくりと楽しむことができます。

運航期間：4月上旬～5月中旬、7月下旬～8月下旬
10月下旬～11月下旬
運航時間：9:00～16:00(受付は15:00まで)
料 金：佐々連コース(約50分)1,200(1,000)円、重嶽岩コース(約90分)2,000(1,500)円
※小人はどちらのコースも600円 ※()内は20名以上の団体料金
乗降場所：明神島運動公園(山口県萩市川上3342-1)
TEL：0838-25-3139(萩市観光課) / TEL：090-4104-4924(萩・長門峡観光遊覧船乗場)



川上 季節暦

春

- 山菜
- 新緑の山々
- 阿武川温泉公園まつり
- 的祭り(4月)

夏

- アユ料理
- アユ漁解禁
- 梅

この時期はセブシグおいしい

秋

- ユズ
- 子持ちアユ(9月)
- ふるさと祭り(11月)
- 長門峡もみじ祭り

冬

- 大根・白菜

H27.3 現在

編集発行 | 萩まちじゅう博物館推進委員会川上部会
川上文化財愛護協会
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



萩まちあるきマップ

かわ かみ 川上おたからマップ



川上は、緑豊かな山々の中央を県下第二の長流・阿武川が流れ、「^{つばさご}椿郷^{つばさご}の内にて水上に当る故に川上と呼んだ」とあるように、地名や歴史、人々の生活も、阿武川とともに生きてきた地域です。長門峡を上流に持ち、^{へいけ おちうど}平家の落人伝説^{へいけ おちうど}の残る古くから水とともに暮らしてきた山里を、溪谷美を鑑賞しながら巡ってみませんか。

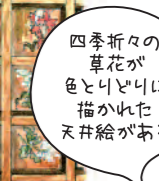
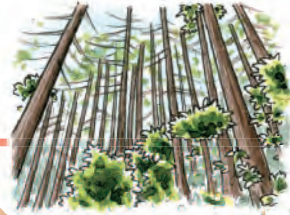


このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
machihaku.city.hagi.lg.jp/db/



川上の林業

川上は、山々に囲まれ耕地が少ないことから、昔から林業が発達していました。かつてはそのまっすぐな材質を生かして、電柱用丸太や足場丸太として供給されていました。また、その出荷には阿武川の流れを利用し、筏を組んで下流まで運んでいました。



四季折々の草花が色とりどりに描かれた天井絵がある

平助・権太のお地蔵様が優しく阿武川を見守っています

江戸時代、川上は阿武川の流れを利用して、薪や炭を川船に載せて、萩の城下町へ供給していました。しかし、江戸時代後期に、下流の太鼓湾に酒米をつくらため水車が造られ、舟が通れなくなりました。

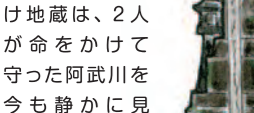
川上の人々は、水車の撤去を求めましたが聞き入れられず、とうとう自力で撤去しようと多くの村人が集まりました。藩の役人と村人との激しいやりとりの末、遂に水車を取り除くことが決まりましたが、藩はこれを一揆とみなし、村の代表として最後まで自分たちの正しさを主張した平助と権太は処刑されてしまいました。

村人は、この2人を村を救った義民として後世にいたるまで称えられました。背向け地蔵は、2人が命をかけて守った阿武川を今も静かに見守っています。

毎年7月頃

滝巡りツアー

緑豊かな山々に囲まれ、多くの支流を持つ阿武川は、滝も多く、さまざまな表情を見せます。普段、通り過ぎてしまう道路の下にすてきな滝があったり、山を分け入ると深い淵を持つ滝があったりします。そんな滝を巡るツアーに参加してみませんか？



川上おたからマップ



おすすめトレイル

阿武川とともに生きた川上の人々の暮らしに思いをはせるトレイル

観光遊覧船に乗って、ダム湖から眺める景色もまた格別です。重塀岩コースと佐々連コースがあります。水没した地区で使われていた民具などは、歴史民俗資料館に展示してあります。当時の生活に思いをはせてみませんか？

- 14 萩・長門峡観光遊覧船
 - 重塀岩コース (90分)
 - 佐々連コース (50分)
- 15 阿武川歴史民俗資料館
 - 萩阿武川温泉ふれあい会館
- 16 背向け地蔵

おすすめトレイル

長門峡の散策

～レッツ ウォーキング～ 距離 約5.5km 所要時間 100分

長門峡は「21世紀に残したい日本の自然100選」にも選ばれた美しい渓谷で、約5.3kmの遊歩道が設けられています。そそり立つ断崖や奇岩を眺めながら、四季折々の自然が満喫できる片道約100分の道のり。特にまばゆいほどの新緑や錦繡の美を見せる紅葉期の美しさは格別です。

- 1 竜宮淵
- 2 白糸の滝
- 3 北海洞門
- 4 紅葉橋
- 5 下和留瀨
- 6 上和留瀨
- 7 高島洞門
- 8 鈴ヶ茶屋
- 9 瀬淵
- 10 舟入
- 11 榎ヶ淵
- 12 丁字川
- 13 道の駅

流れ落ちる清き水に苔がとてもきれい

約1億年前の火砕流が冷えてできた柱状節理が見えます

橋を眺めても、橋からの景色も美しい！

長門峡散策の遊歩道。阿東側はここから出発！

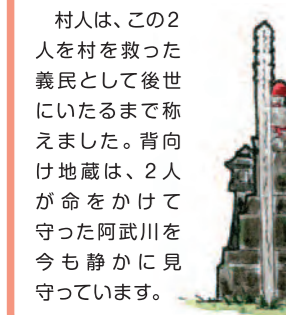
16 背向け地蔵

～川上二義民の物語～

江戸時代、川上は阿武川の流れを利用して、薪や炭を川船に載せて、萩の城下町へ供給していました。しかし、江戸時代後期に、下流の太鼓湾に酒米をつくらため水車が造られ、舟が通れなくなりました。

川上の人々は、水車の撤去を求めましたが聞き入れられず、とうとう自力で撤去しようと多くの村人が集まりました。藩の役人と村人との激しいやりとりの末、遂に水車を取り除くことが決まりましたが、藩はこれを一揆とみなし、村の代表として最後まで自分たちの正しさを主張した平助と権太は処刑されてしまいました。

村人は、この2人を村を救った義民として後世にいたるまで称えられました。背向け地蔵は、2人が命をかけて守った阿武川を今も静かに見守っています。



滝巡りミニトレイル

- 萩阿武川温泉ふれあい会館 (惣ノ瀨の分かれ道を左に入り10分、看板有)
 - 17 扇子落滝 (江舟地区へ行く道に入って途中の道路の下)
 - 18 蟹瀨滝 (降りにくいので道路上から眺めて)
- ※足場の悪い場所もありますので、ご注意ください。

平家の落人伝説

川上には、昔から各地区の地名と関連して平家の落人伝説が語り継がれ、五輪塔婆も数多く残っています。壇ノ浦の戦いで滅亡した平家の落人の子孫が隠れ住んだといわれる平家山、一ノ谷・矢櫃・弓張峠・弓矢形・清宗・御館・飯館・佐々連・兜ヶ谷・小郷などの地名はその名残で、熊谷は残党追捕にやってきた源家の将・熊谷氏の住みついた所といわれています (※いわれのある地名を赤字にしています)。

飯館にあった館山八幡宮は社伝に文永11年(1274)、赤間関(現在の下関)の龜山八幡宮の分霊を勧請とあります。また、阿武川歴史民俗資料館には、水没地区の五輪塔婆や清宗の墓などが集められています。